

満蒙開拓について中島さんのお話をお聞きして

-----飯田市立竜東中学校2年感想文(平成23年3月)-----

(前略)そして、中島さんの話の中では「多くの方が飢えや寒さの為、犠牲になった」とありました。僕はそれを聞いた時に「何の為に日本政府は多くの人々を満州へ移民させたのだろうか」と自然と怒りを覚えました。「日本はみっともないな」と思いました。そしてもう一つ怒れることがありました。それは「残留婦人だから」「日本人だから」と迫害を受けたということです。「同じ人間なのに、こうなりたくてなっている訳ではないのに」と何度も思いました。戦争は人の命を奪う最悪な物、と同時に、人の心を壊してしまうものとわかり、何より平和の重要性を強く感じました。今日、お聞きした事はこれから人生で忘れることのないように平和への願いを持って、思っ生きていきたいと思ひます。

(前略)中島さんのお話を聞いてみて満蒙開拓にたくさんの方がこれからの未来や新しい生活をたくしていたのではないのかと思ひました。ですが、逆にそれが悲劇の始まりだったと思ひます。

ロシアが開拓団を襲い何人もの人が亡くなり、子供は親と離ればなれになり、その時の気持ちはとにかく「恐い」という事だけが心を支配していたのではないのかなと思ひました。戦争が終わっても祖国に帰れない苦しみや祖国に帰ったとしても日本人として認めてもらえない……。それはもう逃げ場のない所だったと思ひます。

でも、中島さんが「前を向いてしっかり生きていこう」という事を聞いて逃げ場がないなら自分で道を切り開けばいいという意味ではないのかなと思ひました。ですが、この悲劇の引き金の戦争は、今なお続いています。中島さんの願ひ「戦争がなく平和な世界」。戦争の恐さやその影響をもっと多くの人に聞いてもらいたいと思ひました。

(前略)私は小さい子供が山においてこられたり、川に流されたりしたというのを聞いてとてもおどろきました。それは、親にとっては一生苦しめないといけないことになってしまうと思ひます。

2つ目は日本人なのに日本人ではないということについてです。中国でもはく害を受けて日本からも見放されてしまったというのを聞いて私は悲しくなりました。子供をすてたり、見放したり。戦争は本当にやってほしくないと思ひます。

私はそんなとても苦しい思いをして生きてきた中島さんがかっこいいと思ひます。理由はそんな苦しい思いをしても前向きに生きていこうと思えたり、就職したり、通信教育で日本語を勉強したりと一生懸命に生きているからです。私だったらどうなっているか分かりません。こんな大切な話しをしてくれた中島さんとこの内容は忘れません。私にできることを探して行動していきたいです。

